

外国語活動学習指導案

5年2組 29名 指導者 馬場 智也

本授業は、以下の検証を行っていくものである。

- 子どもたちのコミュニケーション能力の素地を養うために、数を数えるという身近な素材にゲームの要素を加え、楽しく活動することができるようにするとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。

1 単元名 数の数え方「いくつになるかな」

2 目 標

世界の数の数え方やゲーム等の活動を通して、英語の発音やリズム等に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。

3 単元のつながり



4 単元設定の理由

本単元は、外国語活動の導入期である子どもたちが、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することをねらいとしている。この期の子どもたちは進級により、新しい友達や担任との出会いを体験している。また、高学年として周りからの期待もあり、気持ちを新たにしているものである。

そこで、大単元「はじめまして」を設定し、新しい仲間と互いにコミュニケーションを図り、分かり合うことの喜びを感じながら、外国語活動という新しい学習との出会いにも学ぶ喜びを感じてほしいと考えた。さらにその内容として、出会いの基本である「Greeting」や互いの情報を表現し合う「introduction」、楽しみを共有し合う「Game」を設定した。

「数の数え方」は単元「Game」に含まれる内容である。数を数えるという行為は子どもたちの日常生活の中でよく使われる行為である。人数と渡すものを合わせるために数える、必要なものをそろえるために数える、時間や日にちを数える、ゲームの勝敗を決めるために数えるなど、子どもたちなりの必要感を持ち、行うものである。このような身近な体験を素材とすることで興味・関心にそった必要感のある主体的な学習が進められるようになると考え、教材化を図った。

高学年になると、各教科等においても自分から進んで発表したり、活動したりすることに躊躇する子どもたちが増えてくる。外国語活動は、結果としての知識の習得を目標とするものではないが、このような消極的傾向は見られることから、知的好奇心を高め、児童の学習意欲を喚起することが望まれる。そこで、本単元では、英語だけではなく他の外国語にも触れることができるようにし、子どもたちの興味・関心から学習意欲を高めることができるようにする。さらに、子どもたち同士や教師とのコミュニケーション活動が必然的に行われるような学習活動を設定し、かかわることの喜びを味わえるようにする。

第1時では、数える表現に十分慣れ親しむことができるように、数える行為を多く取り入れた活動を行う。第2時では、ゲーム的な活動を通し、子どもたち同士や教師と十分にかかわりコミュニケーションを図る活動を中心に行う。これら一連の学習活動が子どもに学習活動に必然性をもたせることができ、活用して表現する力を高めることができると考える。このようにして、自分を表現していこうとする態度を育て、コミュニケーション能力の素地を養っていきたいと考える。

5 子どもの実態

本学級の子どもは日常生活の中で多くの英語が使われていることを知っている。また、国際的な場面で英語が共通の言語として使われていることが多いことも知っている。そのため、英語を話してみたいという願いをもっている子どもが多い。また、英会話スクールなどに通い、英語に親しんでいる子どももいる。

しかし、実際に英語を話す場面や外国の方と接する機会は少ないことから、本学習を設定することは意義深いと考える。

外国語活動、外国の言語や文化に関する子どもたち実態は次のとおりである。

質問項目	回答
Q 外国についてどのようなことに興味がありますか。	歴史、言葉、スポーツ、外国で活躍している日本人 食べ物・果物、あいさつ、絵画 ----- とくにない (11人)
Q 身の回りにはどのような外来語がありますか。	ソファ、テレビ、エスカレーター、テーブル、カップ トイレ、ペン、ランドセル、マット、ブック パイナップル、バナナ、オレンジ、メロン、トマト、ポテト ハンバーグ、コーラ、ジュース、ソーダ、ウィスキー ビール、サイダー、ワイン ドッジボール、ベースボール、サッカー、ルール ドントマインド アンパンマン、マンガ 分からない (6人)
Q 外国語を使ってどんなことができるようになりますか。	・外国の方と話してみたい。(19人) ・世界を旅行してみたい (11人) ・外国の方と友達になりたい。(8人) ・世界で活躍する仕事がしたい。(6人) 【複数回答】
Q 英語を習っていますか。	はい (2人) いいえ (27人)

アンケートの結果から、本学級の子どもたちの多くが外国の言語や文化に対し興味をもっている半面、「とくにない」と答えた子どもが11人いる。子どもたちの日常生活の中では世界の情報が日常的にあふれており、接する機会が皆無ということはありません。しかし、そこへ興味を向けることをしなければ明確な意識として残ることはない。子どもたちの未来は明らかに国際化社会であり、外国に対し無関心ではいられないことは確実である。外国語活動を通して子どもたちの興味、関心を高めていくことが大切である。

本単元では数えるという行為を教材化していることから、ゲームやチャンツなどを取り入れ、楽しく外国語活動を行い、言語や文化に対する興味関心を高めると共に、コミュニケーションを図る楽しさも十分感じることができるようになりたい。

6 本時の指導に当たって

まず、外国語活動に抵抗なく入ることができるようにするために、あいさつや発表する際の言い方などは本校なりの定型の言い方で行うようにし、相手意識・目的意識を明確にもってできるようにする。その際、これまで学習した表現も十分使う機会をとり、英語を表現する楽しさを味わうことができるようにする。また、リラックスした気持ちで活動に臨むことができるようにするために、リズムに合わせて体を動かしながら英語の歌を歌うようにする。

展開では知的好奇心を高め、児童の学習意欲を喚起するために、ゲームを行い、子どもたちの興味・関心を高め、数える必然性をもたせながら英語に親しむことができるようにする。

終末では、英語の音声や表現に十分慣れ親しむことができるようにするために話を聞く時間を設定する。

6 実 際

時間	学 習 活 動	指導上の留意点
3	<p>Greeting</p> <p>1 はじめのあいさつをする。 Good morning everyone. How are you? I'm fine thank you, and you?</p>	<p>○ 始めは全体で、その後1対1であいさつをしてあいさつに慣れさせる。</p> <p>○ これまで学習した表現を使い多様な会話を楽しめるようにする。</p> <p>○ 黒板に張ったカードが何枚あるか確認することで、数える意識をもつことができるようにする。</p> <p>○ 前時で学習した歌を動作を付けながら楽しく歌うことができるようにする。</p> <p>○ 他の外国の言語も使い、世界の様々な言葉や数え方を感じるができるようにする。</p> <p>○ ゲームを通し、楽しみながら数を数える活動ができるようにする。</p> <p>○ 制限時間内に多くの友達と交流を行い、繰り返し会話することができるようにする。</p> <p>○ 今日の学習で知ったことや言えるようになったことを称賛する。</p>
5	<p>Review</p> <p>2 今日の自分の調子を様々な表現で答える。 I'm fine. I'm O.K. I'm good. I'm tired I'm sleepy. など</p>	
	<p>Today's topic</p> <p>数を数えよう。(Let's count.)</p>	
5	<p>3 元気よく、楽しく歌を歌う。 Let's sing a song together. 前時に学習した1~20の表現を"Seven steps"の応用バージョンで復習する。</p>	
5	<p>4 中国語やイタリア語をつかって"Seven steps"やその応用バージョンで歌う。 【中国語】 Yi er san si wu liu qi ba jiu shi 【イタリア語】 uno due tre quattro cinque sei sette otto nove dieci</p>	
10	<p>5 じゃんけん列車ゲームをする。</p> <p>英語でじゃんけんを行い、つながった人数を数え、一番長い列を作ったチームを確かめる。英語以外の言語でも教えることができるようにする。</p>	
7	<p>6 鉛筆あてゲームをする。 How many?</p> <p>箱の中に入っている鉛筆の数を音を聞いて当てる。「How many?」と音を聞かせ、「Five」など予想した数字を答え、実際に数えて正解を確かめる。</p>	
5	<p>7 英語のお話を聞く。</p>	
5	<p>Greeting</p> <p>8 学習のまとめと終わりのあいさつをする。 Thank you very much. Good-bye. See you.</p>	

7 言葉や表現, 準備について

【word & expression】

How many? one ~ twenty 様々な外国語の1~20

【preparation】

- CDラジカセ ○ 箱と鉛筆
○ 英語CD